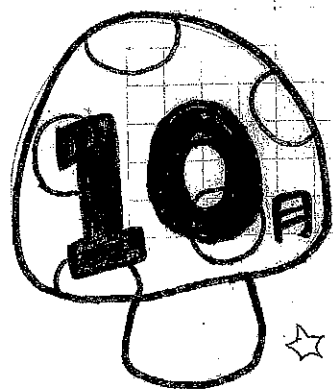




かせい そら たいよう

クラスだより

2023.10.31 円町まぶね隣保園

月日に角虫れる風もだんだん冷たくなり晩秋の気配が感じられるようになりました。園庭や散歩先で沢山身体を動かしている子どもたちも赤や黄色に染まった葉っぱや木々などこの季節ならではの自然に角虫れて沢山遊びたいと思います。また手洗い・うがいを行ない体調の変化に気をつけて11月も楽しく過ごしていきたいと思っています!!



かせいぐみ

運動会ありがとうございました。子どもたちと振り返りながら話を聞くと「楽しかった」「もう一回したい」と言っていました。何よりお家の方が来て見てもらったことがとても嬉しかったようです。当日の子どもたちはいつもより少し緊張している姿もあれば、ワクワクしている姿、元気いっぱい、の姿も見られその時の場面によっても色々な表情を見せてくれました。ありのままの自然な姿を温かく見守り下り、ありがとうございました。拍手や声援をもらい子どもたちもとても嬉しかったと思います。友だちと一緒に参加できたこと、お家の人に見てもらえたこと、運動会での経験が喜びや自信に繋がるといふことも思います。そして今後も運動遊びや外遊び、リズムなどの遊びを通して身体を動かすことを楽しんでいきたいと思っています。

冬野菜や

夏に育てたキュウリとナスの収穫が終わり土だけになったプランターに「次は何の野菜を育てる?」と子どもたちの声がありました。もう1回キュウリが食べたいという意見が多かったのですが、このからの季節は難しいので夏野菜と冬野菜の話をしました。そして皆で何の野菜を育てるか話し合い、**パプリカ**と**ラディッシュ**を育てることになりました。パプリカはよく知っている子どもたちで、ラディッシュは「食べたことがないから食べてみたい」という思いから決まりました。保育者からの絶賛でよく子どもたちからの「食べてみたい」「育ててみたい」という思いが出てくることに驚きました。パプリカは苗でラディッシュは種。「これが本当になるの?」と不思議そうにしながらも水やりや日光の時には「もうできてるかな?」と生長や収穫に期待をもちます。これから大きく育つのを楽しみに皆で水やりをしまひひ

着る習慣を...

だんだんと寒くなってきてきたのでこの時期から着る習慣をつけていくと病気にも負けず身体に強くなります。子どもは絶えず活動をし新陳代謝も盛んです。衣服は大人より少し厚いというのが目安です。保育園は温度調節をしますので重さや重い半袖と半ズボンをお願いします。体調がすぐれない日はお声がけ下さい。朝、寒い時は長袖を重ね着て来しもらっても構いませんが活動前には月曜日の遊びます。

そらぐみ

「うんどうかい」の通しやすさで迎えられた運動会でした。子どもたちを見守っていたとき、ありがとうございました。プールが終わる頃から運動会に向けての活動が多くなりました。残暑厳しい中での運動会ごっこで、なかなか意欲が湧いてこない姿もありましたが、少しずつ開きになっていき、ドキドキするくらい、あした、うんどうかい?と何日も前から楽しみにしていました。当日は緊張の面持ちで参りましたが、徐々に笑顔が見られるようになり、それぞれの競技中にも楽しそうな笑顔を見ることができました。順番を待っている間も、「つぎ、そらぐみさん?」と期待して待っていました。大子ぎなうちの方に見守られて嬉しくもち、こんなことができるよとばかりに「見て見て」と自信に満ちあふれた表情が印象的でした。夏から秋にかけて、プール、運動会を通してひとりひとりの成長を感じることができました。また、子どもたちから「たのしかった」という声を聞くことができ、嬉しいです。

園外保育 久しぶりに出かけることが嬉しい子どもたちです。しかも、お弁当も持参の園外保育。元気に出発しました。船岡山の入口に行くと、「ここ、たことある」と言う子どもたち。春にも行ったことをよく覚えていました。斜面を駆け上り、トンネルを見つけて、友だちや保育者に見せていました。早く岩場に行きたい子どもたちの足は軽快です。前回に行った時には苦戦していた道なき道の斜面でも、スイスイ登っていました。月が力がついてきたことがわかりました。あと1回間に着いた岩場の斜面。上からおり下からのぼり、一歩ずつ足場を確認しながら、何度も上り下りを繰り返していました。笑顔で楽しんでいる姿は、前回の時よりも身体が使えるようになり、気持ちの面でも怖れがなくなり、怖れ気持ちに負けずやり続けた時の表情は格別です。その気持ちを自信につなげてほしいと思います。たくさん身体を動かして遊んだ結果、帰りのバスの中ではぐっすりでした。でもバス降りて、園までの道中で、「またいきなり!!」「また!!こう!!」と口々に話していました。身体をいかに動かして遊びたいと思ひます。

朝の準備や毎日の準備 登園時の朝の準備やおうちの日の準備や片づけは、保護者の方からしていただくのではなく、子どもと一緒にしていただくことが基本です。身の回りのことを生活の流れに添って、見通しを持って生活するためにも、できる限り、保護者の方には見守っていただき子どもと一緒に準備をしていただくことを思ひます。

たいようぐみ

秋も深まり、だんだん肌寒くなってきました。さて、今日は前半運動会に向けて公園に行き、走りなわとびやリレー、竹馬、竹登り、玉入れと5つの競技を主に取り組んできました。今年で最後の運動会だったので、ここまで出来たという姿をおうちの人にも見てもらえたと思います。それまでのぶっこの中でうまく出来ないことや、あきらめてしまうことなど色々経験しました。保育者が応援するよりも、子ども同士で教えあい、意識しながら成長していったことがよかったと感じました。ぶっこの中ではくやしかったり、負けてしまうことで涙してしまうこともありました。運動会では「今日は泣かない」と話し、最後まで笑顔で皆終わることが出来ました。本番で緊張してしまい、思うように出来ないこともありましたが、これまでの頑張りがおうちの人にも伝わったと思います。運動会が終わってからも「なわとびしたい」「リレーやりたい」と話しており、描画もしました。絵に表そうとすることで、ぶっこのことが思い出され、細かいところもよく思い出しながら描いていました。友だちと力を合わせることを通して、一人ひとりがみんなとやることの楽しさを経験し、それが集団づくりの土台となればよいと思います。

今年コロナで中止になっていた行事も復活し、他園との交流行事もあるなど、盛りだくさんです。また、12月はクリスマス聖誕劇の活動も増えていきます。子どもの中にはしんどういなと思う子どももいるかもしれませんが、そんな時、じっくりと子どもの話をうちでも聞いてあげてください。保育園での出来事をまだうまく話せなかったり話さないこともあると思いますが、おうちの方が公開日誌を見て、「今日こんなことしたの?」と話しかけてくれる、知っていてくれたと感じると子どもたちは嬉しいと思います。その中でおうちの人にも子どもたちの心の変化や成長を感じていただき、子どもたちが自分で気持ちを伝える場ともなりますので、その機会を大切にしていきたいです。

